

ふるさと納税の使い道

令和5年度は39,948件、約6億4,460万円のご寄付をいただき、
誠にありがとうございました。

全国のみなさまの温かいご支援のおかげで、
日々、様々な事業に取り組むことができます。

今後とも、弥彦村を応援いただきますよう、お願い申し上げます。



弥彦村公式キャラクター
ミコびよん

■ふるさと納税事業経費 320,020 千円

返礼品等の調達および送付に係る費用や、広報、決済等、各種事務に係る費用として使用しました。

■図書館運営費 93,748 千円

2023年6月、「読書で健康長寿」「世代間交流」「非認知能力を伸ばす教育」をコンセプトとした村独自の地域交流拠点型の図書館「らいわ弥彦」が開館しました。

来館者数は開館からの1年間で約6万人を超え、多くの方々にご利用いただいております。今後も利用者にとって過ごしやすく、心地よい居場所となることを目指し、運営してまいります。

■保育園の副食費および小中学校の給食費無償化 2,865 千円

3歳以上児の副食費、小中学校の給食費の無償化に努めました。また、給食メニューでは弥彦村の自然豊かな環境のもとで収穫されたお米や野菜を使用するなど、安心した子育てができる環境の整備を進めています。

■寄附金積立基金 89,370 千円

ご寄付いただいた寄附金を有効活用するため、基金として積み立てました。

■子育て支援の推進 49,985 千円

出生から 18 歳までを対象としたさまざまなメニューの助成事業を実施するなど、常に住民目線でニーズの高いサービスに取り組み、子育て世代を経済的に支援するとともに子育てしやすい環境の整備に努めています。

■自然環境の保全と環境美化の推進 17,527 千円

自然と調和した村づくりをすすめるとともに、ごみなどの不法投棄を防止するために環境パトロールの実施や不法投棄防止のPR活動、空き缶（ゴミ）拾い運動等に積極的に取り組んでいます。

■保健・医療・福祉の充実 29,537 千円

村民の健康づくり等を重点的に推進し、子どもの歯科保健対策（フッ化物洗口）先進地として、また、住民健診の受診率が県内でも高位を維持するなど、様々な実績をあげてきました。保健・医療・福祉が連携する包括的なシステムづくりを進め、連携する施策相互の機能連携を強化するなど努めています。

■農林・商工・観光等地場産業の振興 13,957 千円

農業振興に関しては、弥彦村ブランド米“伊彌彦米”“伊彌彦米零（ぜろ）”や、弥彦村ブランド枝豆“弥彦むすめ”“伊彌彦ちゃまめ”“伊彌彦えだまめ”などの生産における所得向上、農地集積による生産性向上、担い手育成等を実施しています。また、商工・観光振興に関しては、首都圏での観光宣伝、外国人旅行者へのインバウンド対策を含め、魅力ある観光地づくりを実施しています。

■交通安全・防犯・防災体制の強化 2,921 千円

災害に強い村を目指し、防災対策づくりに取り組んでいます。また、各集落において自主防災組織を編成し、定期的に全村防災訓練を実施するとともに消防団の士気高揚や組織強化の支援も実施しています。

■教育の充実、生涯学習・生涯スポーツの推進、芸術・文化の振興 8,439 千円

学力向上はもとより、学習方法の習得・学習習慣の定着を目指し、教員 OB をボランティア講師に迎え土曜日や放課後での算数・数学や英語指導を実施するとともに、国際化に対応して生きた英語を学ぶ ALT を配置しています。また、生涯学習活動の拡大、スポーツや文化活動の活性化にも努めています。

■弥彦菊まつり・菊づくり後継者育成支援等 4,544 千円

「菊づくりの優れた栽培技術と弥彦菊まつりを次世代へ残したい。」という想いに、“菊づくり教室の開催”や“小学4年生の菊づくり指導”等の菊づくり後継者育成事業に活用しました。

■モンゴル国との国際交流の推進 1,947 千円

2015 年の彌彦神社御遷座百年奉祝行事“相撲場開き”に、当時、横綱日馬富士関、大関照ノ富士関と、角界を代表するモンゴル力士が当村を訪れました。その際に、二人の力士から「母国モンゴルと日本の懸け橋になりたい」という思いを伝えられたことから交流が始まりました。

2016 年には、モンゴル国トゥブ県エルデネ村と友好都市協定を締結し、以来、隔年で双方の子どもたちを相互に派遣し合う教育交流等を行っております。

2023 年は、8 月に弥彦村の小中学生等がエルデネ村を訪問し、10 月にはエルデネ村の中高生等が弥彦村に来村しました。

■弥彦村のデジタル化の推進 9,737 千円

新潟県内初となる自動運転バスの実用事業、また、2024 年春からテレワークなどで利用できるサテライトオフィスのオープンに向けた取り組みを行いました。このように弥彦村のデジタル化を推進するため、関連事業や運営等に活用させていただきました。